

アンチグレアインキ HF HSD AG クリヤー

アンチグレアインキは、PC・処理 PET・PMMA などの素材表面にシルクスクリーン印刷など各種塗工方法によってアンチグレア(AG)処理するインキになります。インキ処方によってアンチグレアの度合いを調整できるので、好みに合わせた設計が可能となります。

タイプ

ウレタン系 2液硬化型

用途

PC・処理 PET・PMMA 等の素材に適しています。

特徴

インキ処方によってアンチグレアの度合いを調整することができます

希釈溶剤

T-980

硬化剤混合

D 硬化剤をご使用ください。

混合比はインキ：硬化剤=100：10 になります。

(混合したインキは常温で 6-8 時間経過すると、ゲル化や物性の低下を起こします。)

洗浄溶剤

T-15 または T-31

印刷

スクリーンメッシュ テトロンまたはナイロンの 420 メッシュ以上をお勧めします。

乾燥

強制乾燥 (80℃) で 30 分乾燥+常温 2 日、または常温 1 週間

その他

- ・ 希釈溶剤の希釈率によってアンチグレアの度合いが変わります。事前に確認のうえご使用ください。
- ・ D 硬化剤は、湿気に対して非常に敏感に反応します。開缶後はできるだけ早くご使用ください。
- ・ 印刷条件によっては発泡やハジキが発生する場合があります。このようなときは CARE 13 を 1-2%添加すると効果的です。
- ・ 他のインキシリーズでの設定につきましては、弊社までお問い合わせください。

参考資料 (性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。)

被膜性能試験表

試験項目	試験内容	結果
密着性	クロスカットセロテープ剥離	100/100
硬度 (鉛筆法)	荷重 750 g 角度 45 度	B
人工汗 (耐乳酸液)試験	10%乳酸溶液を染み込ませたガーゼで表面を 3 往復させ常温 18 時間放置後、外観と密着性を確認	外観・密着に異常なし
人工汗 (耐オレイン酸液)試験	10%オレイン酸溶液を染み込ませたガーゼで表面を 3 往復させ常温 18 時間放置後、外観と密着性を確認	外観・密着に異常なし
人工汗 (耐リン酸混合液)試験	10%リン酸混合溶液を染み込ませたガーゼで表面を 3 往復させ常温 18 時間放置後、外観と密着性を確認	外観・密着に異常なし
耐湿性試験	60℃ 95%RH の恒温槽に 200 時間放置後、外観と密着性を確認	外観・密着に異常なし
全光線透過率(%)	NDH 5000*での測定値	90.55
曇り度(ヘイズ)	NDH 5000*での測定値	8.15

* 日本電色工業(株) 製

試験条件

インキ : HF HSD AG クリヤー
 素材 : PC
 スクリーン : テトロン 420 メッシュ
 スキージ : ウレタン中硬
 印刷 : 手刷り
 混合比 : インキ : D 硬化剤 = 100 : 10
 稀釈率 : 30%
 乾燥 : 80℃ 30 分 + 常温 1 週間